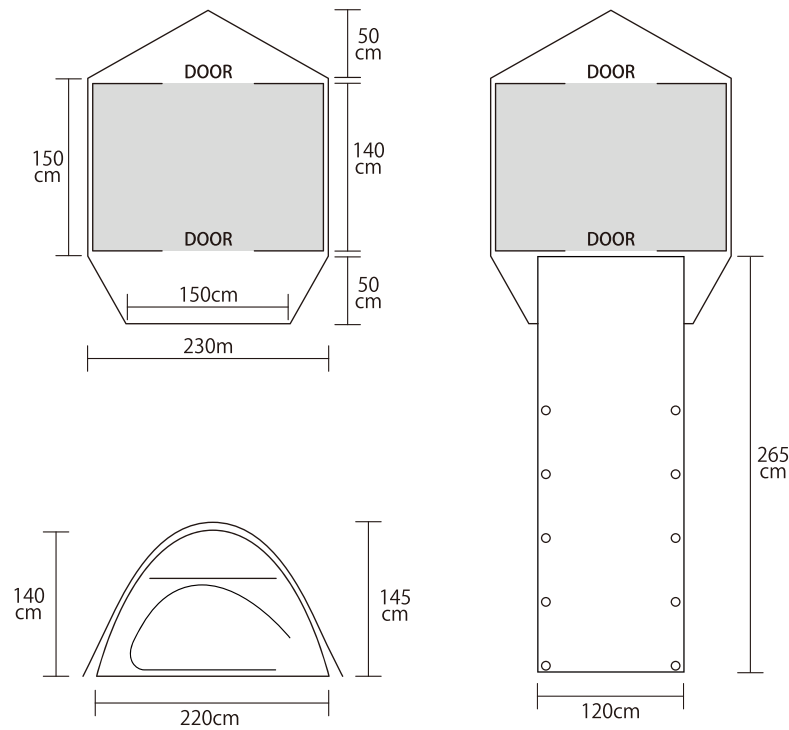


製品サイズ



製品サイズ (約): [インナーサイズ] 210×140×(h) 140cm
[ロングキャノピー] 265cm
製品重量 (約): フライシート: 1,109g
インナーテント: 1,137g
ポール: 543g
ロングキャノピー (先端 TAPE 含む): 538g
総重量 (約): 3,921g

材質

- 素材: [フライ] 40D ナイロンリップストップ PU/ シリコン 耐水圧 2,000mm
[インナー 本体] 20D ナイロンリップストップ
[インナー ボトム] 70D ナイロンタフタ PU 耐水圧 2,000mm

nomadica

tent-Mark DESIGNS

TM-YK-15

TenGer

取扱説明書

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。
使用前に必ずお読みください。また必ず製品とともに保管してください。



⚠ 警告

- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用してください。
- テント内で火気は絶対に使用しないでください。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避をしてください。

⚠ 注意

- 快適なキャンプのために製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をしてください。
- 説明書に従いすべての張綱を確実に固定した状態でご使用ください。
- 焚火のそばなど火があたる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所では使用しないでください。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は退色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となる場合があります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意ください。

メンテナンス、保管上の注意

- 使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地劣化を早めます。
- 製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。

発売元 **株式会社カンセキ**
〒321-0158
栃木県宇都宮市西川田本町 3-1-1



この度は テンゲルをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。


説明書は保管いただき必要の際に必ずお読みください。

警告の内容に関しましては必ず設営の際にご確認ください。



設営手順

1 インナーを広げます。
前後左右対象です。
前・後ろはありません。



2 ポールを組んでグロメット外側に差し込みます。




3 2本のポールを持ち上げTOPのところにインナーのTOPにあるフックをつけます。フックはポールの重なりが上になる方に着けてください。



4 インナーを完成させます。



5 フライをかぶせます。ファスナー2本あるほうが前、1本が後ろです。被せたらベルクロが8箇所ございます。フライの縫い目とポールをあわせベルクロをポールに取り付けます。




6 四隅のバックルを取りつけます。



7 ベグをうって固定します。



8 張り綱を必ず張ってください。耐風対策とロングキャンポピーをつけた際テンションを保つのに必ず必要です。



9 完成です。



10 キャンポピーは張り上げて使えます。キャンポピーポール張り綱は別途ご準備ください。



＜フライのみで使用する場合＞

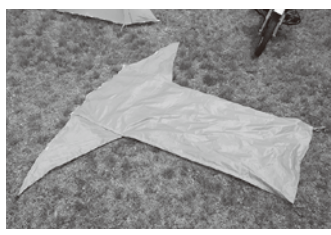
スタンディングテープを四隅のバックルが上になるように置いてベグダウンしてください。ポールをセットし8箇所のベルクロを留め四隅のバックルを取り付けテンションをかけてください。




設営のポイント
ポールが倒れてフライがうまくかけられない場合はポールを持ち上げ、頂上の所を細い紐などで仮留めし、ポールを立ち上げた状態でセットしてください。設営後は頂上のロープを外してください。生地をいためる場合があります。

＜ロングキャンポピーを取り付ける場合＞

1 裏・表を確認してください。
ポリウレタンコーティングをしてる光沢のあるほうが下です。




2 ファスナーで取り付けます。
まず、並行になる部分を取り付けてください。




3 サイドの部分左右ファスナーで取り付けてください。




4 三角の布の下にフックがあります。ポールを差し込んだところにあるグロメットに取り付けてください。




5 黒のロープの先についてるフックを本体の丸い部分に取り付けてください。





6 バイク側の黒いフックはテンションがかかるようにバイク本体に取り付けてください。



7 次に生地についているナイロンベルトをロングキャンポピーにテンションがかかるように取り付けてください。



⚠ 警告 必ずお守りください

- 雨の日は水が流れるようにロングキャンポピーに傾斜をつけてください。雨がロングキャンポピーに溜りテントの破損やバイクの倒壊で怪我などを恐れます。
※張り綱は別途ご準備ください
 - 強風の場合はロングキャンポピーを使用しないでください。風にあおられバイクの倒壊やテントの破損につながります。ロングキャンポピーをつけて風が強くなった場合は写真のようにバイクにつけたロングキャンポピーを取り外しロープに沿って収納しておおられない様にして下さい。又はロングキャンポピーを取り外してください
 - バイク設置の際は必ず倒れてもテントに倒れないように十分距離をおいて設置してください。スタンドの「有る方」「無い方」どちらをテント側にするかは、地面の状況・傾斜などによって倒れにくいほうを選んでください。通常であればスタンド側をテントにしたほうが倒れにくいですが、必ずスタンド下に木の板などを置きスタンドが地面にくい込まないような工夫をおねがいたします。
- 
- 
- 